

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

特別展

ポーラ・コレクション

美人の化粧術

～姫君からモダンガールまで～

平成22年2月16日[火] - 4月4日[日]



三定例之内 婚礼之図 嘉永元(1848)年

開館時間/午前9時～午後5時30分(入館は閉館の30分前まで) 休館日/2月22日[月]、3月2日[火]、3月8日[月]、3月15日[月]、3月23日[火]

主催/愛媛県歴史文化博物館 後援/愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・FM愛媛

観覧料/大人(高校生以上)500円(400円) 小中学生・65歳以上250円(200円) * ()内は20名以上の団体料金 * 他にお得な常設・特別展共通券もあります。

現代の化粧の基礎ができたのは、江戸時代といわれています。当時の化粧は現代よりもシンプルなもので、色にすれば白粉の白、墨眉やお歯黒の黒、そして口紅の赤のわずか3色。この3色を駆使して日本人の黒い髪や瞳に映える化粧を求めました。近代に入ると、お歯黒や眉作り・眉剃りといった化粧は次第に姿を消し、白粉も白一色ではなく多色が登場し、紅もリップ式のものがつくられ、個性を尊重した化粧が行われるようになりました。

本展覧会ではポーラ・コレクションより、近世から近代にかけての化粧道具をはじめ、髪型、衣装、装身具、絵画資料など、広く化粧文化に関わる資料を展示します。「美しくありたい」という女性の願いは変わりませんが、時代とともに美意識は移り変わり、化粧やよそおいにも反映されていきます。それぞれの時代の美を追求する女性たちの姿を多彩な資料からご覧ください。



橘唐草紋散蒔絵婚礼化粧道具 江戸時代後期



雪輪卷子牡丹波千鳥象牙櫛 江戸時代後期



貞明皇后御所用化粧容器 大正時代



クラブ化粧品ポスター「クラブ堂ビル化粧品」 大正時代



携帯化粧道具セット 明治時代末期～大正時代



五三桐紋蒔絵婚礼化粧道具より化粧小物 明治時代後期

関連講座 ※要申込

「ポーラ・コレクションの見どころ」
日時/2月16日[火] 10:30～
講師/村田孝子氏(ポーラ文化研究所主任研究員)

「江戸美人のおしゃれ術」
日時/4月4日[日] 13:30～
講師/村田孝子氏(ポーラ文化研究所主任研究員)
※申込方法は本紙4ページをご確認ください。

関連イベント

お肌の健康診断(ハンドマッサージ付き)
肌のキメや毛穴を画像チェックし、あなたに合ったスキンケアをご提案。養成茶とハンドマッサージのサービスもあります。
日時/2月27日[土]、28日[日]、3月21日[日]、4月3日[土]、4日[日]
場所/エントランスホール
参加費/無料
協力:POLA

歴史
文書

せかいさいしよ きつて 世界最初の切手 「ペニー・ブラック」

世界で最初の切手は、1840年にイギリスで発行されました。「ペニー・ブラック」と「ペンス・ブルー」と呼ばれる2種類で、本資料は「ペニー・ブラック」です。王冠をかぶったヴィクトリア女王（1819～1901）の横顔が図柄となっています。裏にのりはついていますが、周囲に目打ち（ミシン目）はありません。

イギリスでは、すでに国営の郵便制度が存在していました。しかし、高額料金で、受取人が支払うものでした。そのため、郵便物の受け取りを拒否する市民もいました。そこで、ローランド・ヒル（1795～1879）は、1837年に『郵便制度改革：その重要性和実用性』を出版し、低額料金で、差出人が支払う新たな郵便制度を提案しました。

ローランド・ヒルは、料金前納の証として、のりが付いた切手を考え、ジェームズ・チャルマーズ（1782～1853）が、具体的に見本切手を作りました。その後、ヴィクトリア女王のロンドン市庁訪問記念の原画を基に、「ペニー・ブラック」と「ペンス・ブルー」が誕生しました。ローランド・ヒルは、近代郵便制度の父と称されています。

日本では、明治4（1871）年に前島密の尽力によって、郵便制度が確立します。「ペニー・ブラック」と「ペンス・ブルー」が誕生して31年後のことでした。

（主任学芸員 平井誠）



年代 1840年
所蔵 当館蔵
サイズ 縦2.4cm×横2.0cm

引目鉤鼻の気品に満ちた表情と、団子のような丸顔が特徴の雛人形。江戸時代、京都の雛人形師・雛屋次郎左衛門によって創案されたといわれるところから、次郎左衛門雛の名で呼ばれています。まるで源氏物語絵巻の登場人物が抜け出したかのような容貌からか、大名家や公家などの上流階級で長く愛好され、一般的な流行に関わりなく作り続けられました。確認されている次郎左衛門雛の多くは黒い袍と袴をつけた束帯姿の男雛、五衣に華やかな唐衣、裳をまとい、緋袴をつけた姿の女雛



歴史
文書

じろうざ えもんびな 次郎左衛門雛

年代 江戸時代後期
所蔵 個人蔵／当館保管
サイズ 男雛 高26cm
女雛 高20.4cm

となつています。本資料の男雛には摺箔の狩衣が着付けられていますが、蟹霰文様の袴をつけていることから、もともとは黒い袍を着付けた束帯姿であったものを後に古布を用いて補修したと推測されます。また次郎左衛門雛の女雛には冠をつけないのが一般的であるため、女雛の冠も後補と考えられます。補修され大切に受け継がれたこの人形からは、特徴ある容貌に秘められた魅力が現在の私たちにも伝えてられています。

（主任学芸員 宇都宮美紀）

* 「ペニー・ブラック」は、歴史展示室4に展示しています。
* 「次郎左衛門雛」は、テーマ展「おひなさま」に展示します。

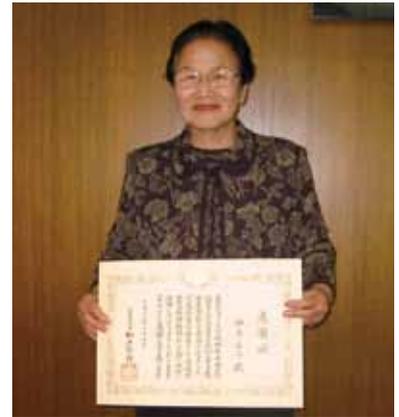
故榊原幸雄氏収集コレクション

この度、榊原正子氏（松山市在住）より、切手のコレクションを寄贈いただきました。これは長年夫故幸雄氏が収集され、故人の遺志により寄贈されたものです。全体で約2万2千点、最も多数を占める日本切手は、約6千点に及びます。世界最初の切手「ペニー・ブラック」と「ペンス・ブルー」（英国1840年発行）も含まれています。

日本では明治4（1871）年に最初の切手が発行されました。本資料では、明治初年から昭和までの切手が、幅広く収集されています。現在では、切手は左上に貼るのが常識ですが、資料の中には裏に貼られているものも存在します。大正3（1914）年発行一銭五厘切手には、「切手は左の肩へはられたし」と加刷されています。その頃まで、貼る位置が不統一であったことがわかります。

本県の消印が押印された切手、本県の差出人や受取人が記載された葉書や封筒等も多数含まれています。また、第一次世界大戦中の大正4～5（1915～1916）年にかけて、松山捕虜収容所のドイツ人捕虜が、本国に差し出したものと思われる葉書や封筒も含まれています。本資料は、日本のみならず、世界の郵便制度の歴史を俯瞰でき、質量共に貴重な近代資料のコレクションです。寄贈いただいた榊原氏に深く感謝申し上げます。

なお、平成21年10月10日（土）に当館で知事からの感謝状が贈呈されました。



「寄贈いただいた榊原正子氏（感謝状贈呈式直後）」

おひなさまイベント

「気分はすっかりおひなさま」

2月27日・28日 10:00～16:00



①十二単着付け体験（要事前申込・各日10名）

平安時代の貴族女性の衣装「十二単」を着てみませんか？

対象：小・中学生（身長140センチ以上）

時間：午前（10:00～12:00、一人30分程度）
午後（13:00～16:00、一人30分程度）

参加費：無料

〔申込方法〕

往復ハガキに「十二単着付け体験希望」と明記の上、着付けの希望日（2月27日か28日）、希望時間（午前か午後）、住所、氏名、年齢、電話番号をそえて、2月10日（水）必着でお申し込みください。

ただし、応募者多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

あて先／〒797-8511 愛媛県歴史文化博物館「十二単着付け体験」係



②おひなさまに変身（事前申込不要・先着順）

西条藩のおひなさまと同じタイプの着物（袴姿）に変身しませんか？

対象：幼児～小・中学生（身長100センチ～140センチ）

時間：10:00～12:00
13:00～16:00

参加費：無料



③作ってみよう！

「真珠のストラップをつくろう」（申込不要）

宇和島産の真珠を使ってス♡テ♡キなストラップを作ってみませんか？

時間：10:00～12:00
13:00～16:00

材料費：250円



れきはくのあしあと

「開館15周年記念イベントを終えて」

平成21年11月14・15日の2日間、開館15周年を迎えたれきはくでは、記念式典のほか、餅まき、各種イベントを開催しました。餅まきでは、多くの方が数少ない餅を狙って、熱い戦いを繰り広げました。また、工作イベント「森の時計をつくろう」ではドングリや木の実を飾りつけた個性豊かな時計が多くできました。お客様の満足そうに帰って行かれる姿が印象的でした。また2日間で合計4,269人の方が来館されました。ご来館頂き、ありがとうございました。



歴史文化講座

歴史・文書講座

- 講座番号⑨「伊達宗城の積極の開国策」
日時：3月6日(土) 13:30～15:00
講師：藤田正(当館学芸課長)
- 講座番号⑩「特別展関連「ポーラ・コレクションの見どころ」」
日時：2月16日(火) 10:30～12:00
講師：村田孝子(ポーラ文化研究所主任研究員)
- 講座番号⑪「特別展関連「江戸美人のおしゃれ術」」
日時：4月4日(日) 13:30～15:00
講師：村田孝子(ポーラ文化研究所主任研究員)

民俗講座

- 講座番号③「鯨塚から見えてくる日本人の心」
日時：1月23日(土) 13:30～15:00
講師：宮脇和人(愛媛大学大学院生)
- 講座番号④「仏像の見方・調べ方」
日時：2月13日(土) 13:30～15:00
講師：大本敬久(当館学芸員)

考古講座

- 講座番号③「ここまでわかった上黒岩岩陰遺跡の最新研究」
日時：2月20日(土) 13:30～15:00
講師：兵頭勲(愛媛県教育委員会文化財保護課主任学芸員)
- 講座番号④「古代伊予の木製品」
日時：3月13日(土) 13:30～15:00
講師：亀井英希(当館学芸員)

【各講座の申込方法】

希望する講座番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前までにはがきなどでお申し込みください。※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ：企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL 0894-62-6222 / FAX 0894-62-6161

3/1より 平成22年度 新規会員を募集します。

友の会は、愛媛の歴史や民俗について、学び親しむ人たちの集まりです。

《会員特典》

- 常設展・企画展・特別展が無料になります。
- 会報や歴博だよりをお届けします。友の会や博物館のイベント情報もお届けします。
- 友の会主催事業に参加できます。現地学習会や研修旅行、特別展解説会などを開催。季節イベントに、友の会会員価格で参加できます。
- 博物館の刊行物の割引があります。
- クラブ活動を実施しています。民俗・考古・パソコン・裂織の4クラブが活動中。気になる分野をより深く学ぶことができます。※会員特典は、変更になる場合があります。予め、ご了承ください。

《入会方法》

1. 会費をご持参の上、歴史文化博物館に直接お申し込みください。
2. 郵便振替払込取扱票に、名前・住所・電話番号・会員の種類を記入の上、郵便局で会費をお振り込みください。

口座番号 01610-0-45873

愛媛県歴史文化博物館友の会

(ご入金を確認後、会員証をお送りいたします。)

年会費 (4月～翌3月)	小中学生会員	500円
	高校生会員	1,000円
	大人会員	3,000円
	家族会員	4,000円
	賛助会員	10,000円

《お問い合わせ》

友の会事務局：電話0894-62-6222

◆展示スケジュール 2010.1-3 ◆

1	常設展 えひめの歴史と文化	巡回展「森のめぐみ」 開催中～1月31日(日)
2		特別展「ポーラコレクション美人の化粧術～姫君からモダンガールまで～」 同時開催 テーマ展「おひなさま」 2月16日(火)～4月4日(日)
3		●「おひなさまイベント」2月27日(土)・28日(日)

2月・3月ワークショップのご案内

開催日／2月21・27・28日
3月7・14・21・22・28日
4月4日
時間／13:00～15:00

- ①おひなさまに変身！
参加費：無料
- ②真珠のストラップをつくろう！
材料費：250円

事前申込
不要

ご利用案内

- 開館時間 9:00～17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

	大人(高校生以上)	65歳以上	小・中学生
常設展	500円(400円)	250円(200円)	無料
特別展	500円(400円)	250円(200円)	250円(200円)
常設・特別展共通	700円(560円)	350円(280円)	250円(200円)

※()内は20名以上の団体料金

Museum Calendar 2010.1-3 休館日

1月							2月							3月								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
					1	2			1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13		
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20		
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27		
24	25	26	27	28	29	30	28							28	29	30	31					

愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営：指定管理者 イオテックターターサービス株式会社
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話：0894-62-6222

●発行日 平成22年1月15日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館